

総事業費	900 千円
交付金額	450 千円

## 地域の実情と課題

理工系学部を設置している横浜市内の大学における女子学生比率は2割弱(横浜市調べ(R3時点))となっており、依然として理工系分野を進路に選択する女子学生が少ない状況である。理工系分野の女性人材の増加に向けては、進路や職業選択を行う前段階において、理工系分野への関心を高める取組を行うことが重要である。

## 事業の特徴

企業で活躍している女性技術者(3名)や理工系分野を学ぶ大学生(1名)から、進路選択決定にあたってのポイントや、実際に企業で働くことについて話を聞くことができるセミナーを開催した。実施に当たっては、女性技術者同士の交流や相互研修などに取り組む日本女性技術者フォーラム及び包括連携協定を締結している神奈川大学の協力を得て実施した。

## 事業の効果

当日及び事後のアーカイブ配信を合わせ、中高生及び保護者、教員(約150人)が視聴した。また、事後アンケートでは、「参加前より興味がわいた・理工系へ進みたい」・「参加前と変わらず興味がある・理工系へ進みたい」と答えた人は約8割となり、イベントを通じて理工系分野への興味関心を高めることができた。

## 目的・目標

事業目標:セミナー参加者数 100名

参加申込100人を目標としていたが、イベント管理サービス「Peatix」を利用した申込利便性の向上やSNSを活用した広報等により152人の参加があった。

## 連携団体

- ・日本女性技術者フォーラム(事業の企画・実施の連携、登壇者の選定)
- ・神奈川大学(登壇者の推薦)

## 今後の課題

- ・教員の視聴者数の向上  
中高生の進路選択に当たっては、保護者だけでなく指導に当たる教員の影響も大きいことから、今後はより多くの教員に向けてセミナーを周知できるよう、広報に力を入れていく。

# 事業の概要

## ●実施概要

**概要** 要: 中高生や保護者・教員等も対象に、企業で活躍する女性技術者と理工系大学生によるオンラインパネルトークを行うセミナーを開催し、進路決定に当たってのポイントや企業で働くイメージを伝えた。

**対象者**: 横浜市内在住・在学の中高生、保護者、教職員等

**開催方式**: Zoomウェビナーによるオンライン開催

## ●参加者のご意見・ご感想

- ・自分は数学と理科が得意だが、どんな方面にどんな仕事があるのかもっと知りたいと思った(中学生)
- ・セミナー参加前よりも理工系分野に進学したいと思うようになった(高校生)
- ・大学の学部等や詳しい仕事内容、職場の雰囲気などを写真付きで紹介していたので、とても参考になった(保護者)

## ●参加者情報

- ・参加者数 152人
- ・年齢層 中学生20%、高校生26%、保護者43%、教員3%、その他6%
- ・男女比 女性57%、男性31%、無回答12%

## ●広報チラシ・報告書



チラシ(表)



チラシ(裏)



報告書(表)



報告書(裏)

